

## 研修会報告

2022年 9月 1日

文責： 大場祐輔

研修会テーマ「明日から、ちょっと仕事が愉しくなる ～血球形態・骨髓像編～」

開催日時 2022年 8月 27日（土）14：00～16：20

会場 Zoom ウェビナーによる Web 開催

司会 大場祐輔/伊東貴美

生涯教育点数 20点

参加者 会員参加者 37名(実務委員・講師含む) 入会申請中会員 0名 非会員 3名

賛助会員 0名 学生 0名

合計 40名

講演1「血球形態標準化合同委員会 ～ 骨髓幼若顆粒球・赤芽球の分類基準について ～」

ビー・エム・エル第四検査部 血液学課 坂場 幸治 技師

講演2「検査データと形態から血液疾患に気付く ～骨髓編～」

順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床検査医学科 係長 澤田 朝寛 技師

16:20 終了

### 内容

今回の研修会は「明日から、ちょっと仕事が愉しくなる ～血球形態・骨髓像編～」をテーマに開催し、赤芽球系・顆粒球系の分類基準改訂に伴い細胞形態を正しく学び、データの解釈や細胞像から疾患を推定できるよう知識を取得できることを目的とした。

講演1では、血球形態標準化合同委員会の最近の動向として、骨髓幼若顆粒球・赤芽球の分類基準の改訂および細胞分類一致率の向上に向けての取り組みについてお話し頂いた。赤芽球系・顆粒球系の分類基準改訂に伴う変更点を血液形態の特徴点や変更理由とともに詳しく説明していたことで、細胞分類の鑑別するときの着眼点をより整理することができた。血球形態標準化に至るまでの背景を学ぶことができ、我々が日常的に使用している細胞分化連続画像が非常に有益であるとともに、技師間の目合わせの重要性を改めて強く感じた講演だった。

講演2では、技師として正しい検査結果を報告するうえで重要な部分である検体性状の目視確認や付加情報のパラメータの見方、血小板凝集確認方法から、骨髓検査の経験のない技師にも理解しやすいように画像や動画を用いて骨髓検査の実際についてお話し頂いた。症例提示では、検査データや、情報の読み取り方・注目点とともに骨髓像を交え、臨床に貢献する臨床検査技師となるために知識・経験の向上が重要であることをお話頂いた。血小板凝集の確認方法など日常検査にすぐに生かせる内容が多く、たくさん刺激を受ける講演であった。

参加者は皆最後まで熱心に聴講していた。また、本年度より全国から参加可となったため、県外からの参加者が若干名見られた。今後も宮城県臨床検査技師会員含め参加者のために楽しく学べる研修会企画し、参加者の増加につなげたい。今回のアンケート集計結果を、今後の研修会企画に反映させていきたい。